

静岡県教育委員会

議事録

令和元年度 第10回定例
10月3日(木)

静岡県教育委員会教育長 木苗直秀は、

令和元年10月3日に教育委員会第10回定例会を招集した。

- | | | | | |
|---|------|--------------|-----------|--------|
| 1 | 開催日時 | 令和元年10月3日(木) | 開会 | 13時30分 |
| | | | 閉会 | 14時30分 |
| 2 | 会場 | 教育委員会議室 | | |
| 3 | 出席者 | 教 育 長 | 木 苗 直 秀 | |
| | | 委 員 | 渡 邊 靖 乃 | |
| | | 委 員 | 藤 井 明 子 | |
| | | 委 員 | 加 藤 百 合 子 | |
| | | 委 員 | 伊 東 幸 宏 | |
| | | 委 員 | 小 野 澤 宏 時 | |

事務局(説明員)	鈴 木 一 吉	教育部長
	松 井 和 子	教育監
	長 澤 由 哉	理事(総括担当)
	木 野 雅 弘	参事兼財務課長
	堀 口 敬 記	教育総務課長
	中 山 雄 二	教育政策課長
	中 川 好 広	福利課長
	宮 崎 文 秀	義務教育課長
	赤 堀 健 之	高校教育課長
	伊 賀 匡	特別支援教育課長
	山 下 英 作	社会教育課長
	名 雪 元	健康体育課長
	西 山 義 則	静岡教育事務所長
	市 川 克 明	静岡西教育事務所長
	三 科 守	中央図書館長
	塩 崎 克 幸	総合教育センター所長
	大 石 正 佳	教育総務課参事
	菅 沼 日出彦	教育総務課専門監兼給与班長

4 その他

- (1) 第23号議案は原案通り可決された。
- (2) 報告事項1は、了承された。

【開 会】

教 育 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。
今回の議事録の署名は、私のほか、渡邊委員にお願いする。

【非公開の決議】

- 教 育 長： 議案の審議に入る前に、本定例会の議案の取扱いについて諮る。
第 23 号議案は人事案件であるため、非公開としたいと思うが、異議はないか。
- 全 委 員： 異議なし。
- 教 育 長： それでは第 23 号議案は非公開とする。公開案件から審議する。

報告事項 1 第 5 回静岡県高等学校ビブリオバトル結果

- 教 育 長： 報告事項 1 「第 5 回静岡県高等学校ビブリオバトル結果」について、山下社会教育課長より報告願う。
- 社会教育課長： <報告事項についての説明>
- 教 育 長： 質疑等はあるか。
- 藤 井 委 員： 開催の案内について、事前に頂いていないと思うが。
- 社会教育課長： リーフレットの配布しか行っていなかったかもしれない。
- 藤 井 委 員： リーフレットでも頂いていればメモをしていると思う。この件に関しては、情報をもらっていない。こういったイベントの開催が決まったら、情報を頂きたい。
- 社会教育課長： 案内不足についてお詫びする。次回以降は気を付けたい。
- 藤 井 委 員： 承知した。実際に出たことがないので分からないが、画面等は使わないで、スピーチのみで紹介するのか。
- 社会教育課長： そうである。紹介する本を置いて、5分という制限時間の中で本の紹介を行う。
- 教 育 監： 当日の様子をビデオに撮っているため、時間があるときに紹介したい。
- 藤 井 委 員： そのビデオは、教育委員会のホームページに掲載されているのか。
- 社会教育課長： 掲載はしていない。ただ、DVDを作成する予定があり、広く公開するためだけではなく、各学校にこういった取り組みをしないかという PR にも使用する予定である。
- 加 藤 委 員： Y o u T u b e を活用してみるのも効果大きいと思う。
- 社会教育課長： 広報の仕方について、検討する。
- 藤 井 委 員： 高校でやるのも良いが、中学部門を作ってみても良いのではないか。
- 社会教育課長： 中学にも働き掛けは行っているが、大会までできるかという点については課題がある。高校は、元々全国大会があったという土壌があった。
- 藤 井 委 員： 現状で全国大会が無くても、静岡で中学部門の全国大会を開催しても良いと思う。読書を奨励するという意味を含めて、高校だけでなく中学校からやっていった方が良いのではないか。
- 社会教育課長： 御意見を参考に検討する。
- 渡 邊 委 員： ビブリオバトルが広まってきているのは良いことだと思う。この活動が中高生の読書離れと言われている傾向に歯止めが掛かっているか、といった数値的な効果は出ているか。
- 社会教育課長： 数値は把握できていない。取り組みの結果かどうかという分析はで

きていないが、高校生の不読率を見ると、改善とまでは言えないが、横這いといった状況である。

渡 邊 委 員： 読書の世界においても2極化しており、一生懸命本を読む子どもは、こういった活動に結び付けてくれる一方で、本に親しみが無い子ども達もいたり、勉強に時間を取られて楽しみのための読書をする余裕がないということも考えられる。やはり、本を読むという事を周囲の人が奨励するのであれば、本人の良いところとして認めてあげられるようなシステムが必要であると思う。進学校だと、どうしてもテストの点を取るといふ所に集中してしまうと思うが、日常生活の中で潤いのある時間を過ごすことも大事だよ、ということが広まると良いと思う。

藤 井 委 員： このビブリオバトルには、漫画部門もあるのか。

社会教育課長： 漫画部門はない。

藤 井 委 員： 活字が並んでいる本を読むのも良いが、アニメの世界もあることだし、漫画部門等、様々なパターンがあっても良いと思う。

渡 邊 委 員： 決勝に出た生徒達が、近隣地域の小学生や中学生と交流といった取り組みもできれば良いと思う。

社会教育課長： 前回の優勝者は、中学校に行っているかは分からないが、他校に行つてPRをするといった取り組みをしてくれている。

渡 邊 委 員： そういった交流があれば、将来ビブリオバトルをやるために、取り組みのある学校を希望する生徒も出てくるかもしれない。そういう個性を伸ばしてあげたいという思いがある。

教 育 長： こういった活動を頑張っている生徒は、教員を志望する子が多いという印象がある。上手に育てていければ良いと思う。

加 藤 委 員： 入賞者の一人である谷野君は、浜松ジュニアビレッジのコーチをしてくれている生徒である。

小 野 澤 委 員： どんな子なのか。

加 藤 委 員： 一言で言えば変わっている。

社会教育課長： このビブリオバトルでも、彼の「変人力」みたいなものが、非常に評価されていた。

加 藤 委 員： キリスト教の学校に行きながら、仏教の研究をしているような子である。

渡 邊 委 員： 逆に興味を惹かれる。

藤 井 委 員： このビブリオバトルは、読書奨励を目的として開催していると思うが、先程、あえて漫画部門について聞いたのは、プレゼンテーション能力を育成するという意味合いも含めて、対象が漫画であれば、子どもたちも入りやすく、説明にも力が入るといふ可能性もある。もう少し柔軟に検討していくと良いと思う。

教 育 監： 高校によっては、普段の授業の中でもビブリオバトルを実践している学校もある。

小 野 澤 委 員： 本屋でビブリオバトルのチャンプ本が紹介されているのを見たことがある。

教 育 部 長： 前回優勝者のコメントは、本の帯に使われた。
教 育 長： 他に質疑等はあるか。
全 委 員： (特になし)
教 育 長： 報告事項1を了承する。

(会議の非公開)

教 育 長： 会議を非公開とする。傍聴人は退席願う。

<非>第23号議案 教職員の懲戒処分

※ 非公表

教 育 長： 以上で、本定例会の議事はすべて終了した。
これをもって、令和元年度第10回教育委員会定例会を閉会とする。